

首都圏ミートパッカー輸出推進協がフィリピンで和牛の普及活動

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(阿部昌史代表理事)㈱ミート・コンパニオン代表取締役社長)はこのほど、フィリピンで日本産和牛の普及イベントを2日間にわたり実施した。



1日目には、現地のバイヤー、ディストリビューター、飲食店関係者、シェフなどを対象にしたセミナーをマニラ市内のホテルで開催。㈱ミート・コンパニオン執行役の福島孝義ら(写真左)が約300人を前に日本産和牛の魅力や特質について説明したほか、永村和久課長代理がバラ、モモなどのカット実演(整形・分割)を行い、さらにスライスした和

牛をカットステーキとして調理実演、試食として提供した。新たな和牛統一マークを用いて日本産和牛の魅力現地を広めるとともに、ロス以外の部位の活用方法を紹介し、和牛の需要拡大、消費喚起を図った。

さらに2日目には、マカティ市内のバザールで一般消費者向けに日本産和牛のモモを使用したサイコロステーキ約200人分を試食として提供。実際に現地の消費者に日本産和牛を味わってもらい、そのおいしさを知ってもらうことで、日本産和牛の知名度向上、現地市場への浸透を図った。

福島氏は今回のセミナーについて「昨年にもフィリピンで和牛セミナーを開催し、現地での日本食や和牛への関心が高いことがうかがえたが、今回の活動でも参加者から「和牛を取り扱ってみたい」「もっと食べてみたい」との声が多く、改めてフィリピンでの需要を実感した」と振り返り、さらに「現地へ技術者を派遣し、日本産食材の良さや食べ方を紹介・提案することでさらなる需要を取り込んでいきたい」と意欲を語った。

日本ハムグループが東京・大阪・宮城・福岡の4会場で展示会開催

日本ハムグループ展示会がことしも東京会場(1月17〜19日・幕張メッセ国際展示場)、大阪会場(1月25〜26日・京セラドーム大阪)、宮城会場(1月30〜31日・サンフェスタ)、福岡会場(2月7日・マリנםメッセ福岡)の4カ所で開催される。テーマは「つなぐ力」(カスターマーファースト)

スターゼングループ総合展示会が1月30日から2日間、東京で開催

第11回スターゼングループ総合展示会が1月30〜31日の2日間、東京・平和島の東京流通センター第2展示場で開催される。テーマは「努力と進化」。「産地・原料エリア」「ギフトエリア」「外食エリア」「加工品エリア」の各ブースで構成。中でも加工品エリアでは、新たなローストビーフやハンバーグなどが紹介される。